

強壮系医薬品成分及びその構造類似体の分析法について（継続課題）

実施機関：保健環境研究所生活科学部

調査研究期間：令和7年度～令和8年度

<目的>

いわゆる健康食品から、ED治療薬であるホスホジエステラーゼ5（PDE-5）阻害薬やその構造類似体が検出される事例があり、健康被害も報告されている。

健康食品等による健康被害の未然防止及び健康危機事案発生時の検査対応を目的として、強壮系医薬品成分及び構造類似体の分析法を確立する。

<方法>

LC-PDA-MSを用いた分析法を検討した。

測定対象化合物は、「専ら医薬品として使用される成分本質（原材料）リスト」から、PDE-5阻害薬及びその構造類似体等の28化合物とした。

測定対象化合物を2つのグループに分け、各標準品を14化合物ずつ混合し、混合標準溶液-1及び混合標準溶液-2を調製した。

<経過報告及び今後の方向性>

検討した分析条件において、混合標準溶液-1及び混合標準溶液-2の各化合物は良好に分離した。

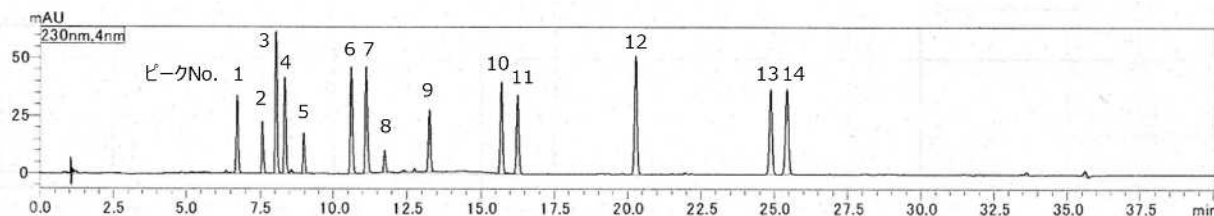
今後は以下の検討を行う。

- ・分析法パラメータ（特異性、検出限界、直線性）の確認
- ・UVスペクトル及びMSスペクトル情報の集積
- ・実サンプルへの適用



LC-PDA-MS

・混合標準溶液-1



・混合標準溶液-2

